

「保険でより良い歯科医療を」兵庫連絡会 市民学習会

# 子どもの貧困と健康・医療

～特に“ひとり親世帯”の現状と施策について～

日時 4月13日(日) 14:00～16:30 (開場 13:30)

会場 兵庫県保険医協会 5F 会議室

講師 法政大学大原社会問題研究所 教授

藤原 千沙 先生

歯科分野の話題提供

『歯科酷書』から考える“人権としての歯科医療”

富澤 洪基氏 (尼崎医療生活協同組合生協歯科/当連絡会共同代表)



参加費 無 料 (どなたでもご参加いただけます)

定員 80 人 (先着順・事前申込制)

今回は、藤原先生から統計を元にしたひとり親世帯の経済的困難の実態や、施策の在り方について、なぜ日本の母子世帯は就労率が高いにも関わらず貧困状態から抜け出しづらいのか?と云った問題点や、所得再分配の効果の特徴などについて解説いただき、子どもの生活状況(貧困世帯と非貧困世帯の子どもの心身の健康状態)の比較などをお伺いします。

また歯科医療現場からの報告として、大勢としては虫歯が減っているものの、貧困家庭の児童・生徒を中心に「口腔崩壊」が散見される現状を全日本民医連『歯科酷書』からご紹介し、格差拡大と医療供給について、意見交換ができれば…とも考えています。ご参加をお待ちしております。

終了後、歯の健康相談会あり(無料)

主催 「保険でより良い歯科医療を」兵庫連絡会

共催 兵庫県保険医協会、兵庫県民主医療機関連合会

協賛 (要請中) 兵庫県歯科医師会/兵庫県歯科技工士会/  
兵庫県歯科衛生士会

後援 (要請中) 兵庫県/神戸市/神戸新聞社/朝日新聞神戸  
総局/読売新聞神戸総局/毎日新聞神戸支局/産経新聞  
社/サンテレビジョン/ラジオ関西

藤原 千沙(ふじわら・ちさ)先生 ご略歴

東京学芸大学教育学部卒業/東京大学経済学研究  
科修士修了/東京大学経済学研究科博士単位取得  
満期退学/1998/4～岩手大学人文社会科学部専任  
講師/2002/4～岩手大学人文社会科学部助教授  
2007/4～岩手大学社会科学系(人文社会科学部専任  
担当)准教授/2014/4～法政大学大原社会問題研究  
所准教授/2016/4～現職/博士(経済学)

共著として、『子どもの貧困』を問いなおす』(法  
律文化社、2017年)、『貧困と保育』(かがわ出版、  
2016年)、『現代社会と子どもの貧困』(大月書店、  
2015年)など

【問い合わせ先】 兵庫県保険医協会事務局 吉永

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1丁目2-31

神戸フコク生命海岸通ビル5階

TEL. 078-393-1809 FAX. 078-393-1820

[ysng@doc-net.or.jp](mailto:ysng@doc-net.or.jp) ⇒会場地図は裏面参照

## 【Zoomによる参加の申し込み】

URL または QR コードから前日までにご登録ください [https:// x.gd/beM5O](https://x.gd/beM5O)



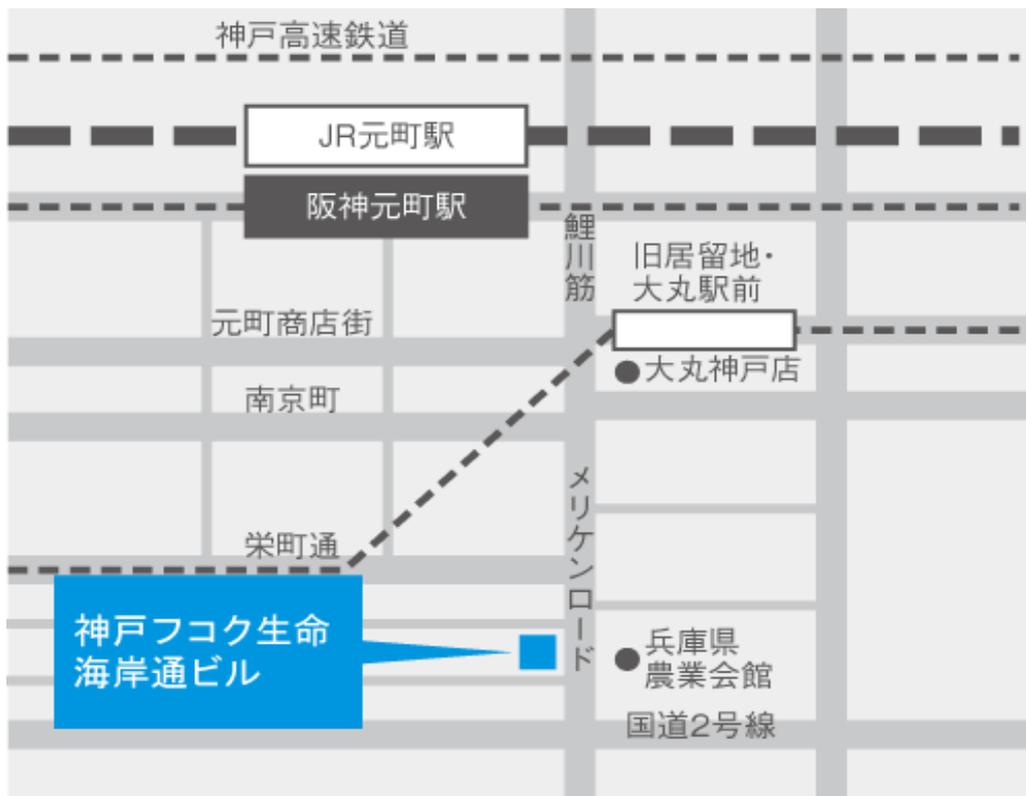
【来場による参加の申し込み】 FAX078-393-1820 または [ysng@doc-net.or.jp](mailto:ysng@doc-net.or.jp) まで

「保険でより良い歯科医療を」兵庫連絡会 市民学習会 (4/13) に参加します

( ) 人 所属など \_\_\_\_\_ お名前 \_\_\_\_\_



## 【会場地図】



### 「保険でより良い歯科医療」兵庫県連絡会のご紹介（設立趣旨より）

おいしく、楽しく食べることは人生を豊かにするとともに健康の基本です。しっかりと噛むことで全身の健康状態を高めます。とくに今日の歯科医療は、糖尿病の管理をはじめ、致命的な疾患にいたる高血圧症や動脈硬化、歯性感染症、誤嚥性肺炎、認知症の予防など、全身の健康にとって不可欠な口腔機能を維持させる上で、ますます重要となっています。お口の健康を保障するためには保険で安心して歯科医療を受けられることが望まれます。

また、成人の8割は歯周病といわれ、通院困難な高齢者・障害者への歯科訪問診療など、国民の歯科医療のニーズも高まっています。

こうしたニーズに応えるよう歯科医療従事者は、「いつでも、どこでも、お金の心配なしに安心して医療を受けられる」ことを理念とした「国民皆保険制度」のもとで、憲法 25 条に基づく社会保障としての歯科医療に携わっています。

しかしながら、患者さんにとって必要な技術が保険で扱えない、従事者の労働力に見合うように保険点数が引きあがらない、患者さんも窓口負担が高くて受診を躊躇するなど、長く続く政府の「低医療費政策」により歯科医療は疲弊しています。高齢化が急速に進み、医療技の進歩も著しいにもかかわらず、この数十年間、保険点数は据え置かれ、新しい技術が保険で認められていないのです。

政府が歯科医療費を増やさないため、歯科医療は危機に瀕しています。歯科技工士、歯科衛生士を養成する学校は定員割れ・廃校が続いています。歯科大学・歯学部も近年は志願者減・定員割れになるなど、お口の健康を守る歯科従事者の担い手がなくなるという深刻な事態になりかねません。

わたしたちは歯科医療の危機を乗り越え、国民の口腔の健康を守るために、歯科医療関係者と患者・住民との協力のネットワークとして、「保険でより良い歯科医療を求める兵庫県連絡会」を立ち上げ、歯科医療の充実とその大切さを国民各層に呼びかけていきます。